

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 7)

団体名	(公財)神戸YWCA	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 平山 芳子
事業名	市営住宅集会所を活用した地域コミュニティ拠点づくり事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
4月20日	なだのはまエイト	17 (5)	みんなのカフェ「オンラインで能登とつなく」
5月18日	なだのはまエイト	9 (3)	みんなのカフェ
6月15日	なだのはまエイト	7 (4)	みんなのカフェ
7月20日	なだのはまエイト	3 (4)	みんなのカフェ「カロムゲーム」(実施できず)
9月21日	なだのはまエイト	17 (5)	みんなのカフェ「歌の会」
10月19日	なだのはまエイト	7 (5)	みんなのカフェ
10月19日	なだのはまエイト	8 (3)	午後イベント「なだのはま寄席」
11月16日	なだのはまエイト	7 (4)	みんなのカフェ
11月16日	なだのはまエイト	27 (4)	午後イベント「海沿いでジャズとコーヒーのひとつとき」
12月21日	なだのはまエイト	18 (5)	みんなのカフェ「クリスマス歌の会」
1月30日	なだのはまエイト	3 (6)	ヒアリング 西灘あんしんすこやかセンター ヒアリング 市営住宅東部管理センター
毎月第3日曜 9:00-10:00	市営住宅8番館周辺	20人前後 (1~2人)	地域清掃に参加(8月と1月は休み)

< 効果と成果 >

- ・みんなのカフェは、毎月第3日曜日(8月は休み)に継続して開催することで、認知され、参加者が増えている。
- ・11月からチラシを業者に発注し、カラー印刷に変更したことの効果があった。初めて参加するという人が増えた。
- ・プログラムは、試行錯誤を繰り返し、様々な企画を実施した。プログラム内容によって、参加者数や参加者の層が変化するため、ニーズ把握にもつながった。

- ・ 第3日曜日に集会室を開けているので、金曜日に実施しているバザーへの寄贈品を持参して下さる地域住民の方がおり、なだのはまエイトが地域の人にも支えられていることを実感する。
- ・ 活動に参加するボランティア人数が増加している。

< 今後の展望 >

あんしんすこやかセンターと市営住宅東部管理センターのヒアリングから。
 公営住宅は、高齢者の受け皿としての住宅となっている。生活保護や年金が低いなど、生活に余裕がない人が多い。
 HAT神戸灘の浜は人気がある住宅であるが、買い物をするところは地域内のスーパー1ヶ所、食事をするところがない。「ごはん難民」が多く、食料支援や食事提供など「食」のニーズが大変高い、とのこと。
 神戸YWCAが実施する野菜市・ミニミニバザーの活動や、みんなのカフェの活動からも、「食」のニーズが高いことが伺える。
 また、一人暮らし高齢者で認知症の方が増加しているように見受けられる。住民同士の支え合い、助け合いも見られるが、あんしんすこやかセンターと連携し、何らかの支援を模索したい。
 組織の課題としては、財源をどのように確保するか、人材をどのように確保するかが大きな課題である。

< 収支決算書 > (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	450,000
カフェ収入等	87,755
合 計	537,755

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	351,000	263,245
	謝金	92,501	92,501
	旅費交通費	38,262	38,262
	消耗品費	55,992	55,992
	小 計	537,755	450,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		537,755	450,000